

ゼロカーボン社会共創プラットフォーム「暮らしふと信州」

長野県環境部環境政策課・ゼロカーボン推進室

●「暮らしふと信州」の挑戦

- 「暮らしふと信州」では、2つのかつてない挑戦に取り組みます。
 - ・2030年CO₂排出量6割削減、その先に「Sustainable Nagano」ブランド確立
 - ・そのための、産・学・官、その他あらゆる主体の、相互に対等な共創の実現
- そのために「暮らしふと信州」を、脱炭素のための
 - ①「プロジェクト」を提案・実行
 - ②相互に「学ぶ」ための、「場」とします。

●「暮らしふと信州」で行われる取組

プラットフォーム参加者が以下を自由に企画提案し、又は参加していただきます。

- ①「プロジェクト」：知恵と力の結集による世界最先端の脱炭素の取組を希求
- ②「学び」：技術やノウハウ、実績等を発信・学び、新たなプロジェクト、先進的取組の世界への発信につなげる

県としても、参加者としてプロジェクト・学びのイベントを企画提案します。

【当面のプロジェクト】

①エネルギー自立地域プロジェクト

- ・「エネルギー自立地域：100%再生可能エネルギーで暮らしが営まれる持続可能な地域」を多数創出
- ・2023年度中に着手する地域を10か所以上目指す
- ・市町村、脱炭素の技術を持つ企業などの参加を期待

②全ての建物に屋根ソーラーを！プロジェクト

- ・屋根太陽光発電を加速度的に普及するため、多様な主体の連携による新たなビジネスモデルの創出をはじめ、実現手法を検討
- ・5年以内に年間設置件数を現在の3倍超のペースに加速化
- ・太陽光設備事業者、ゼロ円モデル企業・団体、金融機関などの参加を期待

③教室断熱100校実践プロジェクト

- ・学生主体での教室の断熱改修の実践の取組を拡大し、生徒を通じた断熱の効果等の発信を図り、断熱の普及に繋げる
- ・2023年度にまず10校、2025年度までには100校での実践を目指す
- ・小中高校、PTA、リフォーム・資材事業者などの参加を期待

【直近の学び】

- 1月20日 環境先進国視察報告会（リアル/バーチャル併用）
- 2月5日 国際ゼロカーボン会議2023プレイベント
& 信州つばさプロジェクト報告会（同上）
- 2月8～9日 国際ゼロカーボン会議2023（バーチャル）

●拠点施設（長野市大字鶴賀問御所町1250-1）

拠点施設は長野市の中央通り沿いの旧店舗を改装したもので、ゼロカーボンに向けた取組支援や気候変動に関する情報発信などを行っていきます。

【概要】

- ・参加者によるプロジェクトの企画・実行のための戦略会議、セミナーや勉強会の開催に使えます。
- ・事務局職員が常駐し、プロジェクトや学びの企画の提案を受け付けます。



● **参加登録の方法**

参加登録は、県公式ホームページからお願いします。

URL : https://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/kurashi/kankyo/zerocarbon_platform.html

(二次元バーコード)

